

## 第 80 回愛鳥週間

令和 8 年度 野生生物保護功勞者表彰

受 賞 者 一 覧

1. 公益財団法人 日本鳥類保護連盟 総裁賞 (1 件)

都道府県	被表彰者	功績概要
北海道	てらさわ たかき 寺沢 孝毅	1) 羽幌町立天売小学校に教諭として着任した 1982 年から、学校の特別活動として野鳥クラブを作り、海鳥や渡り鳥の観察・保護活動を開始して、学校を巻き込んだ多岐にわたる愛鳥活動に発展させた。その活動実績を元に、1990 年 12 月に代表児童が全国野生生物保護実績発表大会（環境庁・日本鳥類保護連盟）で絶滅寸前のウミガラスの保護などを訴え、環境庁自然保護局長賞を受賞した。 2) 観察していた繁殖場所の内の一つの群れが消滅したのをきっかけに、直ちに生息調査を開始すると同時にウミガラスの激減を地元羽幌町、北海道、新聞社など島内外へ訴えた。その後、北海道留萌支庁が実施したウミガラス生息実態調査に調査員として参加し、生息数の激減の把握に努め、それを報告した。この実績を元に、学識経験者、北海道、羽幌町、地元関係者が一同に会して開催された「天売島ウミガラス保護対策検討会」および北海道が立ち上げた「ウミガラス保護管理手法検討委員会」に出席し、ウミガラスの保全対策について提言した。 3) 天売島で 1990 年から設置が始まっていたウミガラスデコイの誘因効果を検証するため、海外のウミガラス繁殖地であるサハリンチュレニー島で誘引効果を測定して北海道庁に報告した。 4) 天売小学校を退職後も、ウミガラスを主とする海鳥の調査を継続したほか、自然写真家として著作、雑誌、新聞、テレビ、SNS など様々なメディアや、写真展、講演活動、天売島ファンクラブ通信『善知鳥』の発行、子供達への環境教育を目的とした自然体験プログラム「天売島宇宙塾」などを通して野生生物や自然環境について啓発する活動を展開した。また、環境省ウミガラス保護増殖分科会検討員、ウミガラス保護増殖検討会検討員として、保護増殖事業実施計画について検討することに貢献した。 5) 天売島にビジターセンター「海の宇宙館」を私費で開設し、海鳥展示・保護や野鳥情報の発信・イベント拠点などとして運用した。 6) 天売島において海鳥観光へのエコ・ツーリズムの概念導入を本格的に開始した。海鳥繁殖地としての天売島の価値を伝えるため、小型船舶を使った持続可能でドラマチックなガイド事業を展開した。 7) ペットの適正飼養と海鳥の保護を目的として天売島ネコ飼養条例の施行を羽幌町に要望し続け、2012 年にその取り組みが実り条例が施行された。

2. 環境大臣賞（4件）

都道府県	被表彰者	功績概要
北海道	まさとみ ひろゆき 正富 宏之	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 1968年以降、日本におけるタンチョウ研究の第一人者として繁殖生態や生活史を解明し、営巣地調査や個体数調査等を通じてタンチョウの研究と保全活動の基礎を築いた。</li> <li>2) タンチョウ保護増殖検討委員として32年間にわたり、個体数の増加や生息地の分散、個体数調査の精度向上に向けた助言や指導等、タンチョウの保護増殖事業の推進に貢献した。</li> <li>3) 著書や講演、広報活動を通じてタンチョウの生態や人との共存の重要性を発信し、事故防止や農業被害軽減を含む普及啓発活動を継続している。</li> </ol>
秋田県	こまつ まもる 小松 守	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 1975年より秋田市大森山動物園に獣医師として勤務し、園長としてもイヌワシの人工授精や孵化・育雛技術の開発に取り組み、生息域外個体群の創出と維持に大きく貢献した。</li> <li>2) 環境省イヌワシ保護増殖事業の各種検討会やワーキンググループ委員として参画し、飼育個体を用いた野生復帰の検討や事業計画改定に助言した。</li> <li>3) 行政機関と連携したイヌワシの展示方法や普及行事を通じ、イヌワシを身近に感じられる機会を創出するとともに、園長退任後も名誉園長として後進の指導に当たっている。</li> </ol>
鹿児島県	いずみしりつ 出水市立 かくしやうがくえん 鶴庄学園	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 特設教科「ツル科」において後期課程生が中心となり、国内最大の越冬地でツルの羽数調査に取り組み、長年にわたり個体数把握と共生環境づくりに貢献している。</li> <li>2) 家族構成分散調査を継続的に実施し、幼鳥率と渡来数の関係を分析することで、将来の個体数変動を見据えた科学的調査研究を実践している。</li> <li>3) 日本生態系協会や行政機関、地域の学校と協働し、ボランティアガイド活動や調査成果の共有を通じてツル保護体制の構築に貢献している。</li> </ol>
長野県	かぶしきがいしゃ ごりゅう 株式会社 五竜	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 白馬五竜高山植物園において、高山植物の種子保存および増殖に取り組み、中部地域の高山帯に生息する絶滅危惧種の、特に生息域外保全における高山植物供給に関する重要な拠点となっている。</li> <li>2) 環境省が実施するライチョウ保護増殖事業に協力し、飼育下繁殖に必要な高山植物の栽培体制を整えた。また、植物園の担当者がそれぞれの施設に出向いて高山植物栽培のための技術支援を行っている。</li> <li>3) 行政機関や他園館と連携し、高山植物の保全に関する連絡会議や講演会などの拠点となるとともに、ライチョウ飼育園館を活用した教育活動を実施して普及啓発活動に努めている。</li> </ol>

3. 文部科学大臣賞（2件）

都道府県	被表彰者	功績概要
佐賀県	<small>げんかい</small> 玄海みらい学園 <small>がくえん</small>	1) 総合的な学習の時間に「玄海町の自然を守ろう」をテーマとした学習を行い、森・川・海をフィールドに野鳥観察や生態調査を実施し、自然環境を守る意識の育成に取り組んでいる。 2) 海洋教育を柱に、発達段階に応じた探究活動を展開し、海洋プラスチック問題や野生生物保護を題材とした学習を通じて、自分たちにできる取り組みを見出している。 3) 観察成果や学習内容を文化祭や発表会で発信するとともに、地域や保護者に学習の成果を披露することで野生生物保護に関する普及啓発活動を行っている。
鹿児島県	<small>やまとそんりつ</small> 大和村立 <small>やまとしょうがっこう</small> 大和小学校	1) 特別天然記念物アマミノクロウサギの飼育実績を基盤に、郷土教育カリキュラム「大和村スタイル」を掲げ、教育課程に「環境教育」を位置付け、児童の野生生物への理解と保護意識の醸成に取り組んでいる。 2) 外来種駆除、稚魚放流、海岸清掃活動等を実施し、身近な自然環境の保全に直接関わる実践的な野生生物保全活動を長年にわたり推進した。 3) 校内展示やリーフレット作成、記念講演等を通じ、アマミノクロウサギ飼育の歴史と保護の重要性を学校内外に発信し、地域と連携した普及啓発活動を行った。

4. 林野庁長官感謝状（2件）

都道府県	被表彰者	功績概要
鳥取県	<small>ど い かつお</small> 土居 克夫	1) 40年近くにわたる標識調査や研究、観察活動を継続し、地域における野鳥に関する知識および保護思想の普及に努め、日本野鳥の会鳥取県支部の設立準備段階から中心的に関わっている。 2) 大山町のリゾート開発予定地においてオオタカの生息確認調査を行い、2004年の鳥取県立「大山オオタカの森」条例制定および保全施策の実現に貢献した。 3) 米子水鳥公園の設立運動や運営支援に関わり、環境教育活動を通じて、水鳥と共生する湿地環境の保全と普及啓発活動を行っている。 4) 鳥取県環境審議会委員として県施策の検討に参画し、絵画や巣箱コンクールなどの開催・審査を通じて、子どもたちの野鳥や自然への関心と保護意欲の増進に貢献している。
茨城県	<small>にんていとくていひえいり</small> 認定特定非営利 <small>かつどうほうじん</small> 活動法人 <small>ししつか しぜん</small> 尖塚の自然と <small>れきし かい</small> 歴史の会	1) 生物多様性と歴史的遺産に恵まれた里山を次世代に引き継ぐため、雑木林の植生管理、観察路の整備、ゴミ拾いなどを行い、尖塚の里山環境の保全活動に努めている。 2) 環境省モニタリングサイト 1000 里地調査に参加し、植物相、鳥類、哺乳類、昆虫類などの調査を行うとともに、独自の生物相調査を行い、保全活動の基礎となるデータを蓄積している。 3) 観察会や自然体験活動、学校教育への協力を通じて環境教育を行い、その成果を広報することで社会に還元し、地域に根ざした普及啓発活動を行っている。

5. 公益財団法人 日本鳥類保護連盟会長賞（3件）

都道府県	被表彰者	功績概要
神奈川県	やぎ しげる 八木 茂	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 「はだの野鳥の会」（昭和 53 年発足）に平成 3 年からに参加し、平成 21 年以降は会長として長年にわたり会の運営を担い、秦野市内を中心とした野鳥調査や観察活動を継続的に推進した。</li> <li>2) 定点観察会や県内外での観察会を実施するとともに、会報「野鳥だより」の発行や観察情報の配信、野鳥コラムの連載を通じて、地域における野鳥調査成果の蓄積と情報発信に尽力している。</li> <li>3) 「新訂版 秦野の野鳥」の編集に中心的に関わり、秦野市内で観察される野鳥をまとめた教材として市内の小中学校で利用されている。</li> <li>4) 「神奈川県秦野市におけるリュウキュウサンショウクイの造巢から巣立ちまでの観察」の論文発表など調査研究活動にも取り組んできた。</li> </ol>
静岡県	かげやま まさとし 影山 昌俊	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 静岡県自然学習指導員として静岡県立森林公園で自然案内を行い、来園者に対する環境理解の促進に貢献するとともに、静岡県野鳥愛護協会理事として会の運営に携わっている。</li> <li>2) 環境菊川野鳥の会の一員として全国一斉テグスひろい活動に継続的に参加し、釣り糸による野鳥被害の防止に取り組むなど、地域に根ざした保全活動を実施している。</li> <li>3) 巣箱掛けやファミリー探鳥会、文化祭での展示発表などを通じ、子どもから大人まで幅広い世代に野鳥の生態や自然の大切さを伝える普及啓発活動を長年にわたり行っている。</li> </ol>
京都府	すがわ ひさし 須川 恒	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 日本鳥学会鳥類保護委員会委員として、鳥類の学術研究や現地調査、委員会活動に携わり、鳥類保護に関する専門的知見の蓄積と発展に寄与している。</li> <li>2) 京都府レッドデータブックの調査員および改訂検討委員会委員として、調査・改訂作業に関与し、府レッドデータブックおよびレッドリストの作成と公開に貢献した。</li> <li>3) 希少野生生物指定候補種等検討委員会や京都府環境審議会自然・鳥獣保護部会委員として、条例指定や生物多様性地域戦略の策定に鳥類専門家として尽力した。</li> <li>4) 1978 年から冠鳥調査に参加し、2011 年以降は調査研究会会長としてオオミズナギドリの標識調査や生態研究、イベントや講演などを主導している。</li> </ol>

6. 環境省自然環境局長賞（3件）

都道府県	被表彰者	功績概要
北海道	あさかわ みつひこ 浅川 満彦	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 風力発電施設周辺での野鳥衝突事故の剖検調査を実施し、国内初のオジロワシ衝突事例を明らかにするなど、病理学的知見を集積し、生物多様性保全につながる業績をあげた。</li> <li>2) ユルリ・モユルリ島における海鳥類の捕食者であるドブネズミ対策の検討会委員として、島内のドブネズミ根絶を成功させた。</li> <li>3) 著書や監修活動を通じて、野生動物の死因を調べることで事故対策につなげることの重要性を広く普及啓発している。</li> </ol>
新潟県	きのした とおる 木下 徹	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 国際保護鳥トキの野生復帰に関する基礎調査事業に加わり、放鳥予定地の自然環境や個体の行動調査を行うなど、トキの保護活動に長年取り組んだ。</li> <li>2) 新潟県野鳥愛護会の機関誌「野鳥新潟」の編集幹事を30年以上務め、新潟県内の野鳥保護活動や調査の成果を継続的に発信し、愛鳥思想の普及啓発に貢献した。</li> <li>3) 全国鳥類標識調査の一員として長年標識調査を実施するとともに、ノジコの日本海沿岸山麓における移動経路解明などに尽力した。</li> <li>4) 「国指定鳥獣保護区における渡り鳥調査」や「高病原性鳥インフルエンザの検出に伴う野鳥の生息状況調査」など、行政調査やモニタリング事業にも協力している。</li> </ol>
神奈川県	はだのしりつ 秦野市立 きたしょうがっこう 北小学校	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 地域で見られる野鳥を題材に、巣作りから巣立ちまでの学習や講師招聘による授業を実施し、児童の愛鳥意識と自然への関心を高める教育活動を継続している。</li> <li>2) 読書活動や表現活動とも連動させ、野鳥を題材とした創作や探究学習を行うことで、ふるさと秦野の自然の価値を再認識し、「秦野プライド」の醸成を図った。</li> <li>3) 「鳥もすめる環境都市宣言」の理念のもと、里地里山を学習フィールドとした体験活動や自然環境を活用した教育を行い、野生生物保護の理解促進に取り組んでいる。</li> </ol>

7. 公益財団法人日本鳥類保護連盟会長褒状（8件）

◆個人（6件）

都道府県	被表彰者
北海道	ますだ りゅういち 増田 隆一
群馬県	こいど ゆきお 小井土 幸男
埼玉県	たにむら よしのり 谷村 吉則
大阪府	うえむら まさる 上村 賢
和歌山県	いおの まもる 庵野 衛
和歌山県	もりもと まさのぶ 森本 政信

◆学校（2件）

都道府県	被表彰者
福井県	かつやましりつ むろこしょうがっこう 勝山市立 村岡小学校
福岡県	がっこうほうじんつづきいくえいがくえん 学校法人 都築育英学園 にほんけいざいだいがく 日本経済大学

8. 環境省自然環境局長感謝状

鳥獣保護管理員等 (489件)

都道府県	被表彰者	都道府県	被表彰者	都道府県	被表彰者
北海道	このいこうじ 五ノ井 孝司	新潟県	ほんぼ たかし 本保 孝	香川県	にしやま こうじ 西山 浩二
北海道	こばやし かずゆき 小林 和悠	新潟県	ほんま しげとし 本間 繁寿	福岡県	まつお しゅうじ 松尾 修二
北海道	はやし とよゆき 林 豊行	石川県	おかもと じゅんじ 岡本 順治	宮崎県	にしだ としゆき 西田 稔幸
北海道	ふじわら さとる 藤原 智	山梨県	ふしみ とみかず 伏見 富和	宮崎県	みずたに かずよし 水谷 和義
北海道	まきの すぐる 牧野 傑	長野県	おりたけ まさゆき 折竹 正行	鹿児島県	いまよし けんじ 今吉 賢二
青森県	やまじ ひでお 山路 英夫	静岡県	くろだ なおや 黒田 直也	鹿児島県	しばはら ひとし 芝原 仁
岩手県	みうら さとし 三浦 智	愛知県	つるた ただお 鶴田 忠夫	鹿児島県	そのだ てるみ 園田 輝美
山形県	おがさわら よしひろ 小笠原 吉広	愛知県	ひらいわ たけよし 平岩 丈義	鹿児島県	みや みちろう 宮 三千朗
山形県	こまつ よういち 小松 要一	滋賀県	おおにし まさのり 大西 正則		
茨城県	いけの すすむ 池野 進	滋賀県	かたやま じゅんじ 片山 淳二		
茨城県	おじま あきら 小島 昭	島根県	あおき いずみ 青木 泉		
茨城県	みやうち えいいち 宮内 栄一	島根県	かさい しょうすけ 笠井 正助		
群馬県	みやざき ながしら 宮崎 名頭	島根県	きつかわ ゆたか 吉川 豊		
埼玉県	こばやし 小林 みどり	島根県	そでもと まさなお 袖本 眞直		
埼玉県	まつもと いくお 松本 幾雄	島根県	ほそだ のぶお 細田 信男		
千葉県	いのうえ ちゅうじょう 井上 宙丈	島根県	よこた はつゆき 横田 初幸		
千葉県	きむら まさのり 木村 正憲	岡山県	えんどう かつしげ 遠藤 勝茂		
千葉県	よこやま さかい 横山 境	岡山県	にしだ ひではる 西田 秀春		
神奈川県	きたじま もりつぐ 北島 守次	岡山県	もりもと としのぶ 森本 年宣		
新潟県	さとう まさお 佐藤 正男	徳島県	みやけ たける 三宅 武		